

クラウド型車両管理システム「SmartDrive Fleet」にて新機能「AI ドライバー識別」の提供を開始

— JVC ケンウッド製 AI ドラレコをご利用中のお客様向け、より高精度なドライバー管理が可能に —

モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ（本社：東京都千代田区、代表取締役：北川 烈、以下「当社」）は、クラウド型車両管理システム「SmartDrive Fleet」の新機能として、ドライバーの顔を AI で識別し、運転者ごとの記録・分析を可能とする「AI ドライバー識別」機能の提供を開始します。



本機能は、株式会社 JVC ケンウッド製の AI 搭載ドライブレコーダーとの連携により実現しており、運転者を自動で識別し、「誰が、いつ、どの車両を運転していたか」をより確実に記録できるようになります。これにより、運転日報の精度向上や、安全運転の促進、社内コンプライアンスの強化が期待できます。

● 「AI ドライバー識別」機能の主な特長**➤ AI による顔認識でドライバーを自動識別**

ドライバーの乗車・交代時に顔を AI が自動識別。ドライバーによる記録操作は不要です。

➤ 運転日報業務を大幅に省力化

自動記録により誤記・未記録を防ぎ、日報作成の手間を削減。管理業務の効率化に貢献します。

➤ ドライバーごとの運転履歴・スコアを自動集計

個人別の運転データが蓄積されるため、評価・指導が容易になり、安全運転の意識向上が期待できます。

➤ 社内コンプライアンス・法令遵守を徹底

誰が運転していたかの記録が明確になり、事故時対応や労務管理での証跡管理を強化します。

※本機能は、JVC ケンウッド製 AI ドライブレコーダーをご利用中のお客様向けのオプション機能となります。

当社は今後も、「移動の進化を後押しする」というビジョンのもと、安全で効率的な車両運用を支援するソリューションを提供してまいります。

以上

【スマートドライブのサービス】

「経営者とドライバーが使いたい No. 1(※)」法人向け車両管理システム **SmartDrive Fleet**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/>

車両に関する書類 DX を促進するクラウドサービス **SmartDrive Box**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/lp/smartdrive-box/>

業界の垣根を超えたコミュニティー **Mobility Transformation**

<https://www.mobility-transformation.com/>

走行データの取得・蓄積・活用 **Mobility Data Platform**

<https://smartdrive.co.jp/mobility-data-platform/>

※日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要:2021 年 5 月期_ブランドのイメージ調査

※「SmartDrive」、「SmartDrive Fleet」、「SmartDrive Cars」、「Mobility Data Platform」、「Mobility Transformation」、「Vector G」は、株式会社スマートドライブの商標または登録商標です。

■会社概要 **株式会社スマートドライブ**

会社名 : 株式会社スマートドライブ（東京証券取引所グロース市場：証券コード 5137）

設立 : 2013 年 10 月

代表取締役 : 北川 烈

所在地 : 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント 19 階

URL : <https://smartdrive.co.jp/>

-本件に関する報道お問い合わせ窓口-

株式会社スマートドライブ マーケティングチーム 広報担当

Email:pr@smartdrive.co.jp TEL:070-3250-4163（佐藤）